

買替補助金の開始と消化は 11月22日から500件以上想定



やまもと まきお
山本 牧夫 議員

問

脱炭素対策、省エネ家電買替事業として、補助金4116万円が計上され、補助率は3分の2のことで町民は期待していた。対象となるエアコンについては夏場の需要が多く、早期に着手すべきだったと考える。

しかし、環境省との調整や補助金交付要綱制定迄に時間を要し、事業受付は、11月22日に開始されたが、残り3カ月でどのように消化するのかを問う。

答

宮川 環境政策室長

本事業は、CO2削減と町内の経済活性化に寄与するものとして、環境省に採択され、国や商工会、事業者との協議、説明を進めて来たため調整に時間を要した。

11月22日に受付を開始し、来年2月28日を締め切りとしているが、初日から多くの問い合わせと申請があり、500件以上の機器を想定している。



エアコン、エコキュート設置工事
(イメージ画像)

成又熊ノ浦線

未改修狭隘区間の改良は 再度地域の要望を聞く

問

この道路は令和6年度で完了とのことだが、最も改良を必要とする急カーブ、急勾配が続く狭隘な区間を残したままの完了というのは理解できない。

地元の意向は「安全で通りやすい道にしてほしい」という基本に変わりはなく、改良を促進する考えはないかを問う。

答

河村 建設課長

地区座談会で、この路線の改良について了解を得ているので、改良を行う予定はない。

今後は、現状の法面修復を優先的に行う予定だが、改良の地区要望があった事も事実なので、再度地域に入り、要望、意見を聞き、進めていきたい。



成又熊ノ浦線の道路拡幅部。中央上部が県道までの未改良区間（令和6年10月）